



今年のテーマは「時間軸」

幹事長 渡辺かつひろ



新年おめでとうございます。
昨年は、自由民主党議員団に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。
今年のテーマは「時間軸」になるのではないかと考えています。

統一地方選挙からの折り返し、東京オリンピック・パラリンピックまで3年となります。北区中期計画の見直し作業に着手中。兼ねてよりの懸案事項も大きく前進させることのできる年になります。経済上の不安定要素も散見されますが、力強い歩みを広く浸透させ、実体経済の底上げを実現できる年になるよう国・都との連携を図り対応してまいります。

限りある財源を生かし、区民福祉向上、安全で住みやすい環境の整備、特徴ある商工業の活性化、子どもたちが誇りに想える教育環境の整備、区民の生命財産を守る防災対策等、「明日の北区」のためには課題解決に向けた時間軸を明確に示し、英知を集約しなければなりません。

地域の皆様が一番身近な議会として、12名の議員団が区内随所で皆様と共に考え、地域の特性を生かした北区発展に全力で取り組んでいくことを約束します。

本年が皆様にとりまして、良き年になるよう心からご祈念申し上げます。

北区バリアフリー構想(素案)

本格的な超高齢社会を迎える中、「ノーマライゼーション」の理念に基づき、高齢者、障害者等の物理的、社会的、制度的、心理的など、さまざまな社会生活上の障壁(バリア)を除去(フリー)し、障害のない人と同じように自立した日常生活や活動ができる社会を実現することを目的に、このほど北区は「バリアフリー基本構想」(素案)を作成しました。

全体構想では、策定の基本方針を設定し、おおむね10年後(平成37年度)を目標とし、平成28年度は「赤羽地区構想」、29年度は「滝野川地区」、30年度は「王子地区」で各駅周辺の現況調査を行い、その結果を踏まえ重点整備地区範囲を設定することになっています。赤羽の重点整備地区は次の通りです。

1. 浮間舟渡駅、北赤羽駅、赤羽駅、赤羽岩淵駅、志茂駅の5つの鉄道駅を含む範囲を赤羽地区とする(すべての駅周辺を重点整備対象)
2. 重点整備地区は、駅からの徒歩圏内(駅を中心としておおむね500メートルから1キロメートル以内の範囲)を基本とする。
3. 重点整備地区の範囲が隣接区に接する場合は、隣接区と協力し、事業を一体的に推進していく。
4. 重点整備地区の境界は、できる限り北区の区境内を町丁目境、道路、河川、鉄道などの施設、都市計画道路などによって明確に表示して定める。

十条駅西口再開発本組合設立へ(平成30年度着工予定)

十条駅西口再開発準備組合が北区へ組合設立認可書を提出

十条駅西口地区市街地再開発準備組合は、権利者からの同意取得が進み、都市再開発法に定める申請要件(2/3

以上の賛同)等が充足されたため、12月1日、花川区長に本組合の「設立認可申請書」を提出し、花川区長はこれを受理して今後の進展に大きな期待感を述べられました。「十条駅西口地区の再開発事業は、埼京線連続立体交差化計画、補助第73号線・85号線の整備と並び、十条まちづくりのための重要な事業です。これからも事業化に向けご努力をお願いします。北区としても最大限のお手伝いをしていきます」。

今後、再開発組合設立までの流れとして、北区での申請書類の内容審査→都知事(認可権者)への提出→東京都での内容審査→事業計画の縦覧及び意見書の受理→意見書の処理(口頭意見陳述を含む)→組合設立認可・公告という手続きを踏んで再開発組合が設立されます。

現時点では、平成29年3月頃に組合設立認可が予定されており、引き続き次年度に権利変換計画の認可、30年度に施設建築物工事の着工、34年度に施設建築物工事竣工の運びとなっています。



■施設建築物の概要

項目	計画概要	項目	計画概要	項目	計画概要
敷地面積	約7,070㎡	建物階数	地上40階 地下2階	容積対象床面積	約56,560㎡
建築面積	約4,740㎡	建物高さ	約147m	計画容積率	約800%
建ぺい率	約67%	延床面積	約79,460㎡	主要用途	共同住宅、 商業・業務等